

ありがとうございました。

○議長（倉又 稔君）

以上で、田中議員の質問が終わりました。

ここで暫時休憩をいたします。

再開を１３時、午後１時といたします。

午前１１時５２分 休憩

午後 １時００分 開議

○議長（倉又 稔君）

休憩を解き会議を再開いたします。

次に、吉川慶一議員。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

吉川議員。〔１番 吉川慶一君登壇〕

○１番（吉川慶一君）

創生クラブの吉川慶一です。

１回目の質問を行います。よろしくお願いします。

１、北陸新幹線開業が市内に及ぼす影響について。

３月１４日に待望の北陸新幹線が開業し、５か月が経ちました。観光地の整備と状況、今後の観光客の誘客について伺います。

（１）北陸新幹線開業が地域観光にどのような影響を及ぼしたのか伺います。

糸魚川駅を利用する観光客の見込み数と実際の観光客数はどうでしたか。見込み数と実数でどのように考えていますか。

世界ジオパーク・糸魚川の観光地の整備状況と今後の計画について伺います。また、交流人口はどのように変化しましたか。

（２）観光客の反応について。

糸魚川市内の宿泊施設は少ないとお聞きしていますが、施設の現況と今後の都市計画について伺います。

観光客の声を活かすために、アンケートを行う予定はありますか。また、具体策はありますか。

（３）広域観光連携の具体的な計画をどのように考えていますか。また、近隣の自治体及び団体との新たな計画はありますか。

２、フォッサマグナの海底ジオラマについて。

糸魚川市近海は、起伏に富み、極めて複雑で険しい地形となっていますが、周辺の海に好漁場をもたらすような有益な特性ともなっています。市民の方がこのような海底の状況をジオラマで作成し、この度報道公開されました。

- (1) このジオラマは海図を基に海底の様子が分かるように製作されています。このジオラマを糸魚川ジオパークの海底版として、観光、教材として利活用する考えはありますか。

3、糸魚川市防災計画の見直しについて。

- (1) 近年、全国各地で台風・地震・集中豪雨等多くの災害が発生しております。津波ハザードマップの見直し後、避難計画で避難所、避難路、避難ビル等の見直しについて伺います。

高齢者や弱者の避難方法を地区の方と確認できましたか。

情報の伝達について、防災行政無線の伝達困難区域の解消に向けて、デジタル化工事で整備を進めていますが、改善できますか。また、消防団無線の配備状況と運用はどのようになっていますか。

- (2) 焼山防災について。

昨年、御嶽山の噴火による被災がありました。自然災害を予測することは難しいと思います。糸魚川市にも新潟焼山があり、過去に大噴火が発生したことが記録されています。今後の火山活動に対し、国及び県の観測調査結果等について伺います。

焼山の防災計画の見直しについて、住民避難のシミュレーション計画は、どのようになっているのか伺います。

噴火発生時、登山者の避難対応をどのようにするのかお伺いします。また、避難用シェルターは何か所ありますか。

- (3) 地震津波防災について。

地震はいつ発生するか分からず、特に、糸魚川沖には海脚の記述が古文書にあり、地震の想定をしていかなければならないと思いますので、今後の津波防災について伺います。

国と県の津波防災計画の見直しはされましたか。対応はどのようにされ、徹底されますか。

地区防災計画の見直しはどのようにされていますか。

地域の防災に対する知識をどのように周知されていますか。

1 回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

吉川議員のご質問にお答えいたします。

1 番目の 1 点目の 1 つ目、糸魚川駅の利用見込み数は乗降調査の結果、開業前の想定を下回っておりますが、市内の主要施設の入り込み客数は伸びており、新幹線開業による効果が出ているものと思っております。

2 つ目の各ジオサイトの説明看板等につきましては、当初予定した整備を完了しており、アクセス道路等につきましては、実施計画等に基づき計画的に整備を行ってまいります。

交流人口につきましては、6 月末までの入り込み客数で増加いたしております。

2 点目につきましては、宿泊者数調査や北陸新幹線糸魚川駅の認知度等に関するアンケートを開業前に実施いたしております。開業後との比較を行うため今年度も調査を実施いたします。

3 点目につきましては、現在、北アルプス日本海広域観光連携会議や上越 3 市観光連携実行委員会等で、広域の視点に立った観光誘客を行っており、新たな対応も模索してまいります。

2 番目につきましては、今後の利活用について関係者と相談をさせていただきたいと考えております。

3 番目の 1 点目の 1 つ目につきましては、地区、または自主防災組織と継続して協議を行いつつ、繰り返し訓練等で実践しながら避難方法について確認してまいります。

2 つ目につきましては、再送信できる子局を増設し、電波が全地域に届くよう整備を進めるとともに、戸別受信機の普及にも努めてまいります。

また、消防団無線につきましては、今年度中に完了する見込みであります。消防本部と消防団が連携をし、運用してまいります。

2 点目の 1 つ目につきましては、新潟焼山火山防災協議会で避難計画を策定いたしておりまして、10 月 10 日には避難計画に基づいた訓練を予定いたしております。

2 つ目につきましては、防災行政無線、緊急速報メール及びヘリコプターなどによる情報伝達を行うことといたしております。

また、避難用シェルターにつきましては、1 基設置いたしております。

3 点目の 1 つ目につきましては、現在、県で調査を進めており、その結果を踏まえて速やかにハザードマップの見直しを行います。

2 つ目につきましては、災害対策基本法に基づき毎年検討を加え、防災会議で修正を行っております。

3 つ目につきましては、防災リーダー研修及び出前講座等を開催し、防災意識の向上を図っております。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますので、よろしくお願い申し上げます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

吉川議員。

○1 番（吉川慶一君）

じゃあ、これから 2 回目の質問をさせていただきます。

概略は市長からお伺いしましたのでわかりましたが、若干、詳細についてこれからお伺いさせていただきたいと思います。

先ほどお話ししましたように、期待する観光客が大きく伸びると思っていたが、実際、思うように伸びてないということが現況でないかなと私は把握しております。

それはさておきまして、今後、どんどんふえることを大きく期待してるところでございます。

さて、糸魚川ジオパーク関連で経済効果の発展をどれぐらい、今、新幹線が通ってどれくらいと見込んでおられるのか。また、それによってどうすればいいのか、担当課にお伺いいたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

○交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

まず、経済波及効果ということでございますけども、今、フォッサマグナミュージアムが、これまで4万人であった入館者数が6万人になりました。これを2万人ふえたという想定の中で、観光庁の経済波及効果の経済モデルを使って推計しますと、直接効果で約1億円、1次、2次の波及効果で2億円といった数字が出ております。つまり1万人お客がふえると、1億円ぐらいふえていくと、こんなような形で試算しているところであります。

今後もお金のことも意識しながら、1人でも多くのお客さんから糸魚川ジオパークに訪れていただきたいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

吉川議員。

○1番（吉川慶一君）

フォッサマグナミュージアムが非常に多くの人から利用され、見学されてることは大変喜ばしく思っておりますし、そうは言うても、まだまだ24サイトというサイトがあるわけですから、これらのサイトも大いに有効利用していただきたいし、また、関連をとっていただきたいと、こう思います。

それで現在まで24サイト、どれぐらいの人が見学、利用されているか、お伺いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

○交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

基本的には24ジオサイトと申しておりますけども、糸魚川市全体がジオパークということでありまして。そうしますと私ども今、交流人口として去年では196万人のお客様が訪れております。これが私ども、一番重要視する指標だというように捉えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

吉川議員。

○1番（吉川慶一君）

糸魚川市全体でこのサイトを守っていく、また、観光にしていこうということでございましょうが、やはり広範囲でございますが、ある程度、プランじゃないけど、こういう方向があってもいいんじゃないか。今、非常に山手のほうのサイトを見ますと、利用できるところ、できないところ、また、ちょっと時間かかるところ、こういうところがまだあるんじゃないかと思いますが、順次、計画されているのはわかるんですが、現実、どのようになっているのか、お伺いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

○交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

基本的には、入り込みの多いところを中心に整備をしていきたいというように考えております。これまでもヒスイ峡のトイレの整備、あるいは月不見の池の遊歩道の整備をしてまいりました。ことしは蓮華温泉のトイレの整備といったところをやっておりますが、今後、親不知、あるいは青海川のヒスイ峡等の整備を計画しているところでございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

吉川議員。

○1番（吉川慶一君）

計画を一日でも早く進めるよう、ひとつお願いしたいと思います。少しずつですが観光客が来て、地域を見て評価されてるわけですから、やはり落ちのないようにひとつお願いしたいと、こう思っております。

それで、ちょっと若干戻りますが、このジオパーク関連で企業誘致はどれくらい関係でありましょうか、わかったら教えてください。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

斉藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 斉藤 孝君登壇〕

○商工農林水産課長（斉藤 孝君）

詳細はよくつかんでおりませんが、目に見えて具体的にわかるのが駅前のジオパークホテルでしょうか、そんなふうに出ております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

吉川議員。

○1番（吉川慶一君）

後ほど触れるかと思いますが、入り込み客によってホテル等が少ないのではないかと、こういうのも聞いておりますが、ぜひ企業とひとつ手を組んでいただいて、糸魚川の観光客にぜひとも糸魚川で泊っていただくような方針を、プランを立てていただきたいと、このことをお願いします。

今のに関連しまして新幹線糸魚川駅周辺と、やはり最初の売り込みであったように日本海の魅力利活用、これをどの程度であるか、具体的に教えていただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

○交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

私ども糸魚川駅は、日本海に一番近い駅ということで売り出させていただいているわけですが、この中には例えばヒスイ探しといったようなメニューで、多くのお客様から来ていただいている部分もあります。ジオパークは学習するという側面もございますので、そこへ糸魚川の海に来て

ヒスイを拾う、あるいは石を探す、そういった中で、いろいろさまざまな学習活動をしていただきたいなというように考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

吉川議員。

○1番（吉川慶一君）

続きまして、先ほど市長からもありましたように、アンケート調査によって進めておるということでございますが、そのアンケート調査されて具体的に生かされるというのは、いつごろを目安にしておられますか、お伺いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

○交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

市長が申し上げましたように宿泊者数調査、あるいは認知度調査をやっておりますが、基本的には私どもイベントがあるごとに、できる限りのアンケートをして、情報をつかむようにしております。

例えば、毎年、行っています観光動態調査では、糸魚川の情報をどうやって拾ったのかというのを毎年聞いておりますが、その中で大きく変化してきたのが、インターネットによる情報入手ということであります。例えば、平成23年度では16.1%であったものが、平成26年度では25%というようにふえております。こういったことを踏まえながら、新聞とか雑誌よりもインターネットを中心にした、情報発信というものを心がけていかなければならないと考えておりますし、アンケートを生かしながら、常にそれに適切に対応してまいりたいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

吉川議員。

○1番（吉川慶一君）

具体的にわかりやすく、ご説明ありがとうございます。

この後、糸魚川駅の利用状況について若干お伺いしますが、開業されて5カ月経過しておりますが、非常に多くの方からジオパルを利用されておると、大変喜ばしく思っております。しかし、反面で言いますと、商店街へ流動する人たちが減少してる、また、利用いただけないのではないかと。これについて、どんなようなお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

○交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

なかなか商店街への誘導というのは、難しい状況ではないかというご意見もございますけども、

ジオパルの中では駅北への情報発信を多く出しております。当然、青海、能生地域への情報発信もしているわけですが、特に、近いということで駅北の地図、マップをつくって情報発信に努めているところです。

開業後でございますけども、駅北、あるいは駅南のほうで、飲食店が新たに3店舗開業するなどといった動きもございます。こういった動きがあるということで、いずれにしましても私どもとしては、情報発信に努めながら周辺の商店街、さらに周辺地域、糸魚川市全域にその影響が及ぶように、努力してまいりたいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

吉川議員。

○1番（吉川慶一君）

詳細にわたり課長からご説明ありがとうございます。

さて、ジオパルは非常に人気あって、全国から見えられております。こう見ると、相当の人数がカウントされてるということでございますが、そこにはいろんなもの、列車、特に先ほど言いましたように石が、非常に糸魚川は石、海もあるんですが、ヒスイの宝庫でもあるわけです。それがやはりどう結びつけるか、どう利用していくか。例えば1例ですが、石拾いするにもどのように姫川を利用させてもらえるか。このようなご検討どうでしょうか、お伺いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

○交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

ジオパル内に観光協会がございますが、先月になりますが、観光協会で石拾いのキットというものを500円で、今、販売をしております。50個ほど、もう既に売れたというようにお聞きしておりますが、こういった取り組みをする中で、具体的にこう形で、こうやってやったら楽しめるよといった提示をしながら、お客さんに楽しんでいただきたいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

吉川議員。

○1番（吉川慶一君）

ちょっと具体的に聞くんですが、確かに私もそれを見させていただきました。やはりその模造品より現実のヒスイ、姫川でヒスイを拾う、海で拾ってみる、これがヒスイだよと、糸魚川ヒスイだよというのが少し弱いのではないかなと。現実には小滝にも、もっと原石があるわけですが、そちらのほうに誘導していくという方法はないか、お伺いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

○交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

ジオパル内で本物というのは、ヒスイは原石 1 個だけあります。基本的に全てにせもの、写真等で表示をしているわけです。それと申しますのも、ジオパルの中で完結してはいけないということで、吉川議員おっしゃられますように、ぜひ本物を現地に足を運んで見ていただきたいという思いから、あるいは明星山のにせものがある、ぜひそれを見る中で本物を見てみたいといった形の誘導を心がけております。

弱い部分もあるかも知れませんが、今後も情報発信しながら、あるいはお声がけをする中で、ぜひ実際に足を運んで石を拾ったり、また、見どころを楽しんでいただきたいというような取り組みを、進めてまいりたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

吉川議員。

○1 番（吉川慶一君）

ただいま回答いただきましたが、その点はぜひ進めていただきたいとお願い申し上げます。

私も 148 号で見ておるんですが、やはり上がってくる方、下っていく方が、若干まだ少ないんじゃないかなと、こう思っておりますので、ひとつ力を入れていただきたいとお願い申し上げます。

それに関連しまして、駅の駐車場の件で若干お聞きしますが、駅の駐車場は多くの台数が駐車できるようにしておりますが、現在の利用状況はどのようになっているかお伺いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

串橋建設課長。〔建設課長 串橋秀樹君登壇〕

○建設課長（串橋秀樹君）

駐車場の利用台数ですけれども、アルプス口が 118 台とめられることになっておりますし、ヒスイ王国館が 172 台ということであります。

それと 3 月は途中からの 3 月 14 日からのスタートでありましたので、合計で 1 万 9,572 台、それと 4 月から 8 月までは 8 万 2,133 台であります。そしてひと月当たりの平均にいたしますと、1 万 6,427 台が利用になっております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

吉川議員。

○1 番（吉川慶一君）

数値的には数多くの台数がありますが、主にこの利用形態は、何を目的として来ておるのか分析されましたか、お伺いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

斉藤産業部長。〔産業部長 斉藤隆一君登壇〕

○産業部長（斉藤隆一君）

駐車場の利用目的ということでありまして、3 月からは新幹線が開業しておりますので、

やはり新幹線の利用者による利用も大幅にふえている。4月からの動きでありますけれども、全体とすれば、というのはヒスイ王国館の駐車場と南アルプス口の駐車場を合わせまして、毎月でいきますと約1,500台が新幹線利用ということであります。残りはやはりジオパルも含めた利用、それから駅周辺の利用に供されているというふうに受けとめております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

吉川議員。

○1番（吉川慶一君）

1,500台、大体数はわかりましたが、そこで毎日、毎日、数多くの車がとまっていたくことは、これにこしたことはないわけですが、やはり私、提案したいんですが、この駐車場をもう少し利用できないものか。

なぜかという、イベント等でやはり使えないのかどうか。それは何だと申しますが、具体的に言うと屋外コンサートとか、キッズで使うとかいろいろあるかと思いますが、1つそういう点も大いに利用していただく、また、駅前でイベントやるときも利用していただく。こういうのをどんなもんか思っておりますが、これは要望でいいですが、これは今後、敷地の検討をしていただく中でご検討いただきたいと、こう思います。

それで先ほどもしつこいようにお聞きしますが、糸魚川ジオパークの入り込みを先ほどお聞きいたしました、どんどん計画を進めていただくことを要望するんですが、世界ジオパークの名でございますので、大いに市民をもっと巻き込んで5年、10年先を、こうしたいんだというものを見る化していただきたいんですが、お考えはないでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

○交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

市民の認知度を上げるということで、教育の場面では子ども一貫教育の中でジオパーク学習を位置づけ、あるいはジオ給食を取り組む中で親子での給食を、糸魚川の食を感じてもらおうといったさまざまな取り組みを進めているところであります。

市民へ広めるというのが、ある意味、一番の課題であります。そうした中で、さまざまな取り組みをする中で、ジオパークに興味を持ってもらって行ってもらいたいと。最終的な形は何かと言いますと、ふるさとに愛着と誇りを持っていただくこと、これが一番だと思います。そういうふうにつながるように、今、ジオパーク戦略プロジェクトなどを通じまして、いろんな取り組みをしているところでございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

吉川議員。

○1番（吉川慶一君）

大いに進めていただきたいと思います。

もう1点お聞きします。

もうジオパーク検定をずっとやってこれておるとありますが、これをどのように生かされておるのか、どれぐらいの人数がもう受けられて終わってるのか、これらをお聞きいたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

○交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

ジオパーク検定につきましては、平成21年度から始めております。既に6回のジオパーク検定をしてるところであります。延べの受験者数は1,304人になります。一般的なご当地検定といえますと、1年目に大きくふえまして、その後、どんどんどんどん減っていくということでありまして、糸魚川のジオパーク検定の場合、初年度は確かに多かったんですが、その後も200人から300人の今、受験者数を維持しております。一昨年の数字でいきますと、新潟検定より受験者数が多かったというようにたしか記憶しておるところであります。

つまり多くの方から受験していただいておりますが、その中の大きな要因として、子供たちがこのジオパーク検定を受験していただくと。会場へ行きますと親子で受験されているといった方も多いかと思います。

いずれにしてもジオパークを学習して、その成果を検定で確認してもらいながら、先ほど申し上げました地域に、ふるさと糸魚川に愛着と誇りを持ってもらえる子供たち、そして市民になっていただきたいなというように考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

吉川議員。

○1番（吉川慶一君）

1,300人の方がもう受けられておると。できることなら私の要望ですが、これらの合格者をもっと協力をいただいて、ジオパーク活動に尽力、力をいただく方法をあわせてお願いしたいと思っていますので、よろしくお願いします。

続きまして、2番目へいきたいと思います。

フォッサマグナミュージアムの海底ジオラマについて、ちょっと触れさせていただきたいなと思いました。

先ほど市長からも答弁ありましたように、結論から申し上げまして、皆さん、これをごらんになりましたでしょうか、お伺いしますが。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

○交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

先日、浦本地区公民館にお邪魔いたしまして、実物を見させていただくとともに、制作者の方と

1 時間半ほどお話を伺う機会を得ました。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

吉川議員。

○1 番（吉川慶一君）

はい、わかりました。

私も認識なく、これを見せていただきまして、すばらしい糸魚川の海岸にありだと強く感銘してまいりました。

糸魚川市内には、海岸 40 キロにわたり連なっております。古文書、糸魚川市史によりますと、大昔、能登半島と佐渡を結ぶ線以南に、日本海で大規模な陥没があったとする説があることが古文書でもわかっております。紀元前 1000 年ごろ、田伏海岸から青海まで海岸が沈没し、この両者の間の関連については定かではありませんが、本ジオラマの要因とすることも見当たりませんでした。しかし、次のような事実が依然として存在することを着目することが、肝要かと考えております。

この間、作者とも、私、いろいろお話をさせてもらっておりますが、本ジオラマ中、海岸近くに複雑に変化している 100 メートルの等高線が存在しておりますが、その線に沿うよう丘陵に卓越した断崖絶壁が認められてることです。この糸魚川海底は、梶屋敷海脚及び能生海脚、親不知海脚が形成され、大変な変化に富んだ海底であると推測されております。ぜひこの海底形状からし、糸魚川のジオサイトに加えられないかということを考えておりますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

○交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

制作者の方とお話する中で、ジオパークは物語でございますけども、海底と山の関係、また、海底と火山の関係、また、海底と魚の関係と、いろんなお話を聞かせていただきました。まさにジオパークの物語性としては、非常に興味あるところでありますし、今後もそういったお話をいたしながら、ジオパークの魅力を高めてまいりたいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

吉川議員。

○1 番（吉川慶一君）

ぜひ検討に加えていただきたいなと、こう思っております。

海のジオパークともし例えるならば、海のほうへ一段とまた認識、それから制作等が加わってくるんじゃないかと、こう思います。ぜひひとつ強力にご検討いただきたいし、また、今やっております地方創生総合戦略で、日本海から北アルプスまでのプラスマイナス 3,000 メートルの世界と表記しとります。そのためにも取り入れてはどうかと思いますので、いま一度お伺いしますが、どうでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

+

○議長（倉又 稔君）

齊藤産業部長。〔産業部長 齊藤隆一君登壇〕

○産業部長（齊藤隆一君）

私も制作者からのお話を聞く中で、一番印象に残ったのは海底から見えてくる糸魚川の海の地形、もちろん、今言われる海脚、あるいはまた海丘、そういった地形が漁場と非常に密接に結びついていたりとか、そういった因果関係もお話しいただきました。なるほどなというふうに、うなずくところもたくさんありました。ある意味で制作者の古文書等も踏まえた考察が、ああいう形にまとめられたんでないかなというふうに受けとめてきたところであります。

今後の活用については、市長が答弁で申し上げました。私らサイドでもいろいろそういったヒントを、もう一度しっかりと学び直す必要があるのかなという部分もありますので、今後の利活用につきましては、もう少し時間をいただければというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

吉川議員。

○1番（吉川慶一君）

ぜひ今後検討、研究の中に加えていただきたいと、こう思いますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、3番目に入ります。

糸魚川市の防災計画の見直しについてでございますが、先ほど市長からも答弁いただきましたが、非常に防災計画というのも何回となく検討され、訓練等に入っているわけでございますが、やはりやればやるほど疑問が出てきたり問題点もあるので、若干、私の観点からご質問、確認をさせていただきたいと、こう思っております。

まず、1点で避難方法、非常に県、国から発表された数値が変わってきます。これは時には研究者によって、調査によって変わるのわかりますが、やはり早く決定しないと災害はいつ、また高波はいつ発生するか全くわかりません。一日も早く計画を市民に出していただかないと、この避難方法については市民が非常に不安を感じると思います。ぜひ避難方法を市民に徹底していただくこと、また、誘導表示等々が必要が出てまいります。ソフト・ハードが両方絡んでまいりますので、ひとつ進めていただきたい。この点について、まず、誘導表示というのはもう終わったんでしょうか、お伺いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

大滝消防長。〔消防長 大滝正史君登壇〕

○消防長（大滝正史君）

お答えします。

誘導表示、避難誘導の表示ということだと思います。これにつきましては、市内ではまだ十分整備をされておられません。合併前の能生町におきましては、海岸沿いの地域に避難誘導標識、ソーラーバッテリーというようなもので設置されている状況がございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

吉川議員。

○1番（吉川慶一君）

一刻も早く進めていただきたいことをお願いいたします。

それから、消防団無線について先ほどもありましたが、消防団無線は各団にも配布されておるのか。また、更新計画等みたいなものはできておるのか、確認いたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

大滝消防長。〔消防長 大滝正史君登壇〕

○消防長（大滝正史君）

お答えします。

現在のアナログ式の消防団無線ですね、これにつきましては、各分団、各部に配備をされているところでございます。

新しく今進めておりますデジタル化につきましても、同様な形で今年度中に整備が完了するという予定でございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

吉川議員。

○1番（吉川慶一君）

わかりました。

デジタルに伴う整備をすると、こういうことでございますが、これも一刻を争うということでございますので、ぜひ検討されてひとつ進めていただきたいし、やはりデジタルになっても全部が全部、聞こえるかどうかというのは、なかなか難しい整備ではないかと、こう思っております。これは十分検討していただきたいと要望します。

それから、公共施設の学校、保育園、福祉施設の避難方法、これは当然、防災計画に基づいておると思いますが、この避難方法の徹底は十分でできておりますか、お伺いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

大滝消防長。〔消防長 大滝正史君登壇〕

○消防長（大滝正史君）

各施設の消防計画などによりまして、災害の種別ごとに避難方法というものが定められております。それによりまして、定期的な訓練を実施しているというところでございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

吉川議員。

○1番（吉川慶一君）

続きまして、ここで先ほどにまた戻るような話になるのですが、非常に観光客が入っております。

+

旅行者、観光客等々の誘導マニュアル、これをどのような計画になっているのか、そのマニュアルができておるのかどうか、お伺いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

大滝消防長。〔消防長 大滝正史君登壇〕

○消防長（大滝正史君）

お答えします。

観光客等々の誘導マニュアル的なものは、まだ作成されておりません。

以上です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

吉川議員。

○1番（吉川慶一君）

早急に進めてください、ぜひ。

続きまして、新潟焼山について若干お聞きいたします。

新潟焼山は登山解禁になりまして、登山者が入っております。この登山者、どういうふう
に把握されておりますか、お伺いしますが、また、それらの人たちの連絡方法はどのようになっ
ているのか、お伺いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

大滝消防長。〔消防長 大滝正史君登壇〕

○消防長（大滝正史君）

最近の登山者の数というものの把握は、十分できていないのが現状でございます。この噴火の関
係を受けまして、新潟県で登山届というものを整備をいたしました。それによりまして、登山者に
ついては登山届をポストに入れていただくというところでの把握ということは、できるかというふ
うに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

吉川議員。

○1番（吉川慶一君）

登山届で把握、これは県条例であることは承知しておりますが、糸魚川の場合もやはりすぐにわ
かるような連絡方法、マニュアル、しっかりとしていただきたいと思います。また、その人たちに
どう情報を周知できるのか。今は携帯電話というものがあるんですが、携帯電話がつながるかどう
かも、これはわからないわけですね、こういうものは。それで果たして入山者がどれくらいおる
かどうか、これらもやはり重大な、避難誘導するかに影響が出てまいります、ぜひ把握していただ
きたいと。

それから避難用シェルターが1カ所あると、こうお聞きしとるんですが、全体で1カ所でいいの
かどうか、この辺の規定があるのかどうか。じゃあ何人登っていて、そのシェルターで間に合うの

かどうか、こういうものが把握されているのかどうか。もし災害があったときの初期対応はどうなっているのか、こういうものができているか、お伺いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

大滝消防長。〔消防長 大滝正史君登壇〕

○消防長（大滝正史君）

お答えします。

シェルターのことでございますけれども、現在、唐沢に、ボックスカルバートといわれるコンクリートの四角のやつですね、こういうものが設置されております。そこは約二、三十人は逃げれるのかなということですが、いかんせん山頂からの距離がございます。いざというときには、なかなか間に合わないという状況がございます。現在、市長も中央のほうへ、シェルターの設置等々につきまして要望等をいたしていただいておりますけれども、環境省ほか森林管理所等々の関連もございまして、なかなかその話がまだ現在進んでいないというところではありますが、鋭意、要望等も行いまして、設置できる方向で進めてまいりたいと、要望してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

吉川議員。

○1番（吉川慶一君）

それもぜひ要望していただいて、1カ所でなくして安全をとっていただくように、避難できる場所に設置を要望いたします。

それから、地震津波について若干お聞きいたします。

先ほど大筋のことはお聞きいたしましたが、まだまだ県の見直しがないからはっきり言えないでしょうけど、実際、避難場所が、10メートルの高波が来ると想定されながらも8メートルのところに避難所があると。こういう見直しはされたのかどうか、いま一度確認いたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

大滝消防長。〔消防長 大滝正史君登壇〕

○消防長（大滝正史君）

より高いところへ避難をとということで、検討を進めていただいている地区もあるわけですが、今出たものは想定で、概略計算によるものというものであります。最終的には、県の調査結果を踏まえましての検討ということになるかと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

吉川議員。

○1番（吉川慶一君）

県と十分協議し、早急に見直しをしていただきたいと思います。

先般、土砂災害防災訓練でありましたが、参加できない地区もございました。全市で防災訓練を

やはりするべきでないかなと、こう思います、この点についてお伺いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

大滝消防長。〔消防長 大滝正史君登壇〕

○消防長（大滝正史君）

想定する災害の種別や地域事情も考慮しなければなりませんけれども、できるだけ全市一斉の防災訓練を実施したいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

吉川議員。

○1番（吉川慶一君）

市民こそって訓練ができる環境をつくっていただきたいと思います。

それによって若干要望ですが、どうも地区によっては防災訓練のなれが出てるところもあって、現実に参加不足の地域が見受けられます。さきの結果、データも行政側からいただいたんですが、やはりまだ不足なところが私はあると思うんですが、この辺についてお考えをお伺いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

大滝消防長。〔消防長 大滝正史君登壇〕

○消防長（大滝正史君）

お答えします。

防災訓練につきましては、全市一斉で行ったものが平成24年度からやっております。津波の訓練を2回、平成26年度、平成27年度と土砂災害、河川氾濫という形で訓練を実施をしております。

参加人数につきましては、今回、天候もよかったこともありますけれども、過去最高といえますが、昨年に比べても3,000人の増ということで、約9,000人の方が参加をしていただいております。そういう意味では、関心が高いのかという判断もできるかというふうに思います。

今、議員が言われる、なれというところでありましてけれども、訓練を実施することで、災害時の対応を身につけるということが出来るわけでありましてけれども、訓練のマナー化の防止というのも課題の1つかなというふうに考えております。

また、地区によっては訓練の熟練度と申しますか、そういうところに差があります。一律の訓練を実施するというだけでも難しさもあるわけでありましてけれども、いずれにいたしましても、繰り返しの訓練というのが重要だというふうに考えておりますので、今後も工夫をした訓練を実施してまいりたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

吉川議員。

○1番（吉川慶一君）

重ねる訓練をひとつよろしく願います。

それから消防団のことでちょっとお伺いしますが、地域によってはもう団員確保に大変だ、また、定数不足が出てるところがあります。これらに伴って、消防団員の活動マニュアルというものができておるのか、お伺いいたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

大滝消防長。〔消防長 大滝正史君登壇〕

○消防長（大滝正史君）

東日本大震災後、特に津波に対する活動マニュアルというものを作成をいたしまして、消防団員の皆さんに周知済みであります。そのほかの災害等については、現在、マニュアルは作成されておりません。

以上です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

吉川議員。

○1番（吉川慶一君）

最後に要望いたします。

防災アドバイザー、もしくは防災士、こういう方が糸魚川にいらっしゃるのかどうか、これをお聞きし、また、こういう方を今後どのように計画の中に加えて訓練を行っているか、最後にそれをお伺いいたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

大滝消防長。〔消防長 大滝正史君登壇〕

○消防長（大滝正史君）

当市では防災アドバイザーの選任は行ってはおりません。防災士の資格取得者は、現在35人です。当市では自主防災組織のリーダーの皆さんを対象に、毎年、防災リーダー研修を実施しており、このリーダーの方々と地区におられる防災士の方が連携を図り、実践的な訓練などをして効果を上げている地区もあります。このような形で、今後も防災士の方々に協力をしていただければというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

吉川議員。

○1番（吉川慶一君）

ぜひ活用していただく、また、協力していただくようお願いを申し上げまして、質問を終わらせていただきます。

ありがとうございました。

○議長（倉又 稔君）

以上で、吉川議員の質問が終わりました。

+